

(4) 開発行為・土地の形質変更・物件の堆積の場合

第1号様式 (第3条関係)

景観計画区域内における行為の届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

奈良県知事 殿

届出者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地  
 氏名 〇〇株式会社  
 代表取締役 〇〇 〇〇  
 電話番号 0742-22-〇〇〇〇

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

行為の場所		〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地					
行為の場所に係る区域		<input checked="" type="checkbox"/> 一般区域 (用途地域: <b>第1種住居地域</b> ) <input type="checkbox"/> 第1種特定区域 <input type="checkbox"/> 第2種特定区域 <input type="checkbox"/> 広域幹線沿道区域					
一敷地に複数の行為がある場合は、各該当項目部分に記載する	行為の種類	<input type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更		届出部分	既存部分	合計	
			建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
			高さ	m	m	m	
			外観変更面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
		<input type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類				
				届出部分	既存部分	合計	
			築造面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
			高さ	m	m	m	
		<input checked="" type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的	建築行為に伴う敷地の切り盛り			
			面積	5000.00 m <sup>2</sup>			
			のり面又は擁壁	高さ	のり面 6.00 m    よう壁 5.25 m		
				長さ	のり面 20.00 m    よう壁 13.25 m		
<input checked="" type="checkbox"/> 物件の堆積 <input checked="" type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的	土石の堆積					
	面積	5000.00 m <sup>2</sup>	堆積の高さ	5.00 m			
	堆積の期間	〇〇年 〇月 〇日 ~ 〇〇年 〇月 〇日					
代理者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇					
設計者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇					
工事施工者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇建設 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇					
予定工期	(着工) 〇〇年 〇月 〇日 ~ (完了) 〇〇年 〇月 〇日						

一敷地に2以上存する場合は、記入枠を増やすか別紙に記載する

備考 1 法人その他の団体にあつては、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記入して下さい。  
 2 該当する□内に、レ印を付してください。  
 3 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかを記入し併せて提出してください。

景観計画区域内における行為の変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

奈良県知事 殿

届出者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地  
 氏名 〇〇 株式会社  
 代表取締役 △△ △△  
 電話番号 0742-22-〇〇〇〇

景観法第16条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

当初の届出にならって記載

行為の場所		〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地					
当初届出年月日及び番号		〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇号					
		変更前		変更後			
行為の種類	<input type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	建築面積	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
		高さ	m		m		
		外観変更面積	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
	<input type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類					
		築造面積	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
		高さ	m		m		
		外観変更面積	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的	建築行為に伴う敷地の切り盛り		同左		
		面積	5000.00 m <sup>2</sup>		同左 m <sup>2</sup>		
		のり面又は擁壁	高さ	のり面 6.00 m よう壁 5.25 m		のり面 8.00 m よう壁 6.25 m	
			長さ	のり面 20.00 m よう壁 13.25 m		のり面 30.00 m よう壁 15.00 m	
		<input checked="" type="checkbox"/> 物件の堆積 <input checked="" type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的	土石の堆積		同左	
面積	5000.00 m <sup>2</sup>		6000.00 m <sup>2</sup>				
堆積の高さ	5.00 m		6.25 m				
堆積の期間	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日		同左				
着工予定日又は完了予定日	着工予定日	〇〇年 12月 1日		〇〇年 12月 10日			
	完了予定日	〇〇年 3月 1日		〇〇年 3月 30日			
その他の変更事項	変更前		変更後				
	届出者の代表者名の変更 〇〇 〇〇		△△ △△				
変更理由	計画変更により堆積の面積が増えたため						
代理人	住所	〇〇市〇〇町〇〇番地					
	氏名	〇〇設計事務所 〇〇 〇〇		電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		

- 備考
- 1 法人その他の団体にあつては、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記入してください。
  - 2 変更後の欄は、変更した事項のみ記入してください。
  - 3 該当する□内に、レ印を付してください。
  - 4 景観計画区域内における行為の届出書に添付した図書のうち、この届出に係る変更に関係があるものに、当該変更の内容を表示して添付してください。
  - 5 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかに変更した事項を記入し、併せて提出してください。

景観計画区域内における行為の通知書

〇〇年〇〇月〇〇日

奈良県知事 殿

通知者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地

名称及び代表者の氏名 〇〇市長 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

景観法第16条第5項後段の規定により、次のとおり通知します。

行為の場所		〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
行為の場所に係る区域		<input checked="" type="checkbox"/> 一般区域（用途地域：第1種住居地域） <input type="checkbox"/> 第1種特定区域 <input type="checkbox"/> 第2種特定区域 <input type="checkbox"/> 広域幹線沿道区域			
行為の種類	<input type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更		通知部分	既存部分	合計
		建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
		高さ	m	m	m
		外観変更面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
	<input type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類			
			通知部分	既存部分	合計
		築造面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
		高さ	m	m	m
	<input checked="" type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的	建築行為に伴う敷地の切り盛り		
		面積	5000.00 m <sup>2</sup>		
		のり面又は擁壁	高さ	のり面 6.00 m よう壁 5.25 m	
			長さ	のり面 20.00 m よう壁 13.25 m	
	<input checked="" type="checkbox"/> 物件の堆積 <input checked="" type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的	土石の堆積		
		面積	5000.00 m <sup>2</sup>	堆積の高さ	5.00 m
		堆積の期間	〇〇年 〇月 〇日 ~ 〇〇年 〇月 〇日		
設計者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			
工事施工者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 株式会社 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			
予定工期	(着工) 〇〇年 〇月 〇日 ~ (完了) 〇〇年 〇月 〇日				

一敷地に複数の行為がある場合は、各該当項目部分に記載する

一敷地に2以上存する場合は、記入枠を増やすか別紙に記載

備考 1 該当する□内に、レ印を付してください。  
 2 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかを記入し、併せて提出してください。

記入例

開発行為及び土地の開墾、土石の採取、鉱物の採掘その他の土地の形質の変更並びに屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積概要書

原則として緑化すること（開発行為を除く）

開発行為、土地の開墾その他の土地の形質の変更	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発行為に伴う、敷地の切り土・盛り土</li> <li>・切り盛りにより一部のり面が発生</li> </ul>		
	のり面又は擁壁	勾配	のり面 15 %	
		緑化の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のり面を種子吹付けにより緑化する</li> <li>・のり面中間部の犬走りに植栽（ユキヤナギ、ツツジ）する</li> </ul>	
行為地周辺の緑化の方法	<p>【開発行為については記載不要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地周辺に生け垣（サザンカ）を設置する</li> </ul>			
土石の採取又は鉱物の掘採	採取又は掘採の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石材（生駒石）の露天掘</li> </ul>		
	行為地周辺の緑化の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地周辺にカエデ類を植林する</li> </ul>		
	跡地の緑化の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平坦部は、保護ブロック工法で、カシ・コナラ等により緑化する</li> <li>・残壁のり面部は、緑化基材吹付けで、カシ・ヤシヤブシ等により緑化する</li> </ul>		
屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積	物件の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂の堆積</li> </ul>		
	行為地周辺の緑化の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲にウバメガシによる生垣を設ける</li> <li>・のり面部分に芝生を貼る</li> </ul>		
	遮へいの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地境界に塀及び生垣を設置し、堆積物を遮へいする</li> </ul>		
共通事項	塀、柵等	構造	鋼板波板	
		高さ	2.00 m	m
		色彩	N 5.0	

該当する項目部分に記載

塀・柵などの色は、色彩基準に合う範囲内で計画

備考 色彩については、マンセル値（色彩・明度・彩度）を記入してください。

景観法届出のチェックシート  
【一般区域・重点景観形成区域】

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行為地は、閑静な住宅地にあり、周辺は低層の専用住宅が建ち並んでいる。当該地は公園に隣接し、公園内には高木の樹木が茂っている。また、近隣の住宅はツツジの生垣が多くある。</li> <li>・行為地は、国道〇〇号線の沿道沿いにある商業地域で、沿道周辺には商業施設が建ち並んでいる。敷地の背景には共同住宅及び戸建て住宅が建ち並び、工場も点在している。</li> <li>・行為地は旧集落に近接した田畑が広がる位置にあり、背景には大和青垣の山並みが見渡せる。近隣の建物は和瓦の入母屋づくりの戸建て住宅が多くある。</li> </ul>			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場 <sup>※1</sup> からの眺望に配慮すること。	有 ・ 無	・背景にある〇〇山の眺望に配慮して、大きな地形改変を避け、緑にあふれる住宅地として計画した。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 ・ 無	・周辺の豊かな自然に調和するよう最大限緑化を図った。 ・周辺集落になじむよう等高線に沿った住宅敷地の配置とするとともに、公園や道路などから眺めの良さが楽しめるような住宅地計画とした。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 ・ 無	・道路の舗装・柵、街灯、案内版などは統一したデザインと色彩など、住宅地全体の調和に配慮した。	適・否
開発行為	1・できる限り現況の地形を活かし、地形の改変を必要最小限にするなど、長大なり面又は擁壁が生じないよう配慮すること。	有 ・ 無	・よう壁部分の高さを抑えて、上部をのり面で処理した。 ・できる限り自然地形を残し、高低差はのり面で処理し、ラウンディングを施した。	適・否
	2・のり面は、できる限り緩やかな勾配とし、緑化を図ること。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有 ・ 無	・のり面を緩やかな勾配とした。 ・のり面は、中間部の犬走りに〇〇を植樹するとともに、種子吹き付けにより緑化した。	適・否
	3・擁壁は、良好な周辺景観と調和した形態及び素材又は前面に緑化を図るなど配慮すること。	有 ・ 無	・周辺集落になじむように間地石積みとした。 ・よう壁の道路側前面に植栽を施す計画とした。	適・否
	4・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全し、活用すること。	有 ・ 無	・敷地内にあった大木を保全できるようによう壁の位置を配慮した。	適・否
	5・塀・柵等を設ける場合にあつては、良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とすること。又その色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること	有 ・ 無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合▲ ・塀は、色彩の彩度を抑えた落ち着いた外観にするとともに、高さを2mに抑え、周辺に配慮した。	適・否

塀・柵などの色は、色彩基準に合う範囲内で計画

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

景観法届出のチェックシート **[土地の形質の変更]**  
**【一般区域・重点景観形成区域】**

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	(開発行為の記入例参照)			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場 <sup>※1</sup> からの眺望に配慮すること。	有・無	・背景にある〇〇寺の眺望に配慮して、造成高さを抑えるとともに、敷地周囲の緑化により駐車場の車を遮へいし、できる限り人工的な景観を抑えた。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・周辺の歴史的な町並みになじむよう青空駐車場であるが、木造の門と塀を設けた。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・碎石プラント、事務所、周囲の塀等は、周囲の自然となじむ色彩で揃えた。	適・否
土地の形質の変更	1・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全すること。	有・無	・敷地内のケヤキの森の一部を保存するように計画した。	適・否
	2・塀・柵等を設ける場合にあつては、良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とすること。又その色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・塀の道路側前面に植栽を施して近隣景観に配慮した。 ・塀は、周辺景観と調和するように明度を抑えた色彩とした。	適・否
<input checked="" type="checkbox"/> 土石の採取、鉱物の掘採の場合  <input checked="" type="checkbox"/> 土地の開墾、その他の土地の形質	1・周辺からは目立ちにくいよう、採取等の位置、方法を工夫し、原則として、行為地周囲の緑化を行うこと。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	・道路から目立ちにくい位置で採取を行う計画とした。 ・樹木を伐採した敷地周辺には、中木を植え、道路側は特に高木の植栽を施す。	適・否
	2・採取、掘採後は、周辺の植生と調和した緑化を図ること。	有・無	・採取が終わった部分から順次種子吹付けにより緑化を施す。 ・吹付け種子は、周辺から採取したものを使用する。	適・否
	1・できる限り現況の地形を活かし、地形の改変を必要最小限にするなど、長大なり面又は擁壁が生じないよう配慮すること。	有・無	・よう壁部分を極力抑えて現況の地形を活かす計画とした。	適・否

該当する項目にチェックして記載

塀・柵などの色は、色彩基準に合う範囲内で計画

の変更の場合	2・のり面は、できる限り緩やかな勾配とし、緑化を図ること。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	・のり面に種子を吹付けて緑化を図るとともに、近隣から目立つ部分はツツジの植栽を施した。	適・否
	3・擁壁は、良好な周辺景観と調和した形態及び素材又は前面に緑化を図るなど配慮すること。	有・無	・よう壁面の前面に植栽を施して、よう壁を目立たないよう配慮した。	適・否
	4・原則として、行為地周囲の緑化を行うこと。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	・周囲に多く使われているサザンカによる生垣を造り、入り口付近にはハナミズキの高木を植栽した。	適・否

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。  
「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

景観法届出のチェックシート  
【一般区域・重点景観形成区域】

[物件の堆積]

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	(開発行為の記入例参照)			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場 <sup>※1</sup> からの眺望に配慮すること。	有 無	・〇〇からの眺望に配慮して、堆積高さを5mに抑えるとともに、〇〇の生垣により直接望見されないよう配慮した。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 無	・建築物の背後で、敷地の中央に規則的に堆積し、敷地周囲を板塀と生垣で囲うことによって、周辺に与える違和感を少なくした。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有 無	・事務所、敷地周囲の塀は木造として、素材や色彩の統一感に配慮した。	適・否
物件の堆積	1・道路等の公共空間から見えにくい位置及び規模とするよう配慮すること。	有 無	・堆積物を建築物の裏側に置いて、道路面から見えにくいように配慮した。	適・否
	2・高さを可能な限り抑えるとともに、整然とした物件の堆積を行うよう配慮すること。	有 無	・堆積物の高さを周辺の塀の高さと同じ2mに抑えて、規則正しく配置し、周辺から見えないように配慮した。	適・否
	3・行為地周囲の緑化を行うなど、原則として、周囲の道路等からの遮へいを行うこと。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 周囲の道路等から遮へい ← ・高さ2mの鋼板塀により敷地周囲を囲って近隣住宅から遮へいする計画とした。 ・併せて道路側に生垣を施す計画とした。	適・否
	4・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全すること。	有 無	・敷地内の樹木をできる限り残せるように堆積物の配置に配慮した。	適・否
	5・塀・等を設ける場合にあつては、良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とすること。又その色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・敷地周辺に高さ2mの板塀を設置して、周辺景観に配慮した。	適・否

堆積物や敷地の周辺は、塀や植栽などで遮へいする。

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。